

2020年10月9日

## HSBC、ネット・ゼロ社会構築のための目標を設定

HSBCは「ネット・ゼロ」（二酸化炭素排出量を実質ゼロにする）を2050年までに達成するために、自社のポートフォリオの融資先排出量をパリ協定の削減目標に適合させ、2030年までに自らの事業運営およびサプライチェーンでのネット・ゼロ達成を目標にします。

HSBC（ロンドン）は世界経済のネット・ゼロ化への移行を支援する融資および投資を優先させるという意欲的な計画を本日発表しました。HSBCはこの計画について、将来の社会と企業の繁栄とレジリエンスを確保するための重要な機会ととらえています。

HSBCは2050年またはそれ以前のネット・ゼロ達成を目指し、自社のポートフォリオの融資先排出量（気候変動対策支援の融資先および投資先企業の二酸化炭素排出量）をパリ協定の目標に適合させることに責任をもって取り組んでいます。HSBCは自社の顧客がこの転換を進めるための指針を提供し、この意欲的な目標の達成を支援する上で、主導的な役割を果たすことができる規模と世界的なネットワークを有しています。HSBCはまた2030年までに自らの事業運営およびサプライチェーンでのネット・ゼロを達成することを目標にしています。

HSBCはあらゆる業種の顧客と協働し、排出量を削減する際のそれぞれの状況に適合した解決策を提案することをお約束します。HSBCは今後、低炭素経済への移行に寄与する融資や投資をより一層優先し、融資判断では「気候のレンズ（climate lens）」を適用いたします。HSBCは顧客の低炭素経済への移行を支援するために2030年までに7,500億米ドルから1兆米ドルの融資および投資を行うという意欲的な目標を持っています。

この目標を達成するために、HSBCは以下の実現に取り組みます。

- 自社の事業活動をパリ協定の削減目標および2050年またはそれ以前にネット・ゼロにするという道筋に適合させます。
- 用途を特定した資金供給支援および各社に特有な移行の道筋に対する助言を提供することによって、顧客の低炭素経済への移行に対する支援を強化します。
- 世界有数の自然資本に投資する会社を設立し、クリーンテクノロジー分野の革新を目的とする1億米ドルのベンチャー・デット・ファンドを組成し、新たなソリューションが持続可能性と規模を確保できるよう1億米ドルの慈善的なプログラムを開始するなど、新たな気候ソリューションを生み出します。
- 同業他社、顧客、規制当局、政府、より広範な社会と協力して、金融システム全体に変化をもたらします。

HSBCは低炭素社会への移行の分野で中心的な役割を担う企業としての地位を確立しています。2017年には2025年までに気候変動対策への支援のための持続可能な資金供与として1,000億米ドルを充当することを明らかにし、その後、賞を獲得した数々の商品を開発し、サステナブル・ファイナンス分野をリードする金融機関と認識されています。しかしHSBCが、パリ協定の削減目標を達成するためには、さらなる努力をより迅速に行うことが必要であり、ネット・ゼロへの移行を加速させるために自社の規模および世界的なネットワークを活用することを計画しています。

グループ・チーフ・エグゼクティブのノエル・クインは次のように述べています。

「HSBCは取引関係にある顧客およびコミュニティが事業機会を拡大できるように長年にわたって尽力してきました。大きな変化が見込まれる重要な10年間に入ったことから、より健康的で、より回復力が強く、より持続可能な未来を築くための我々の努力を加速させる画期的な機会が訪れました。HSBCのネット・ゼロ達成という意欲的な目標は、豊かな低炭素経済を共に構築するために、顧客に対する我々の支援を大幅に拡大することを意味します」

## HSBCの取り組みの詳細

### 1. 「ネット・ゼロ」を達成する金融機関へ

- HSBCは2050年またはそれ以前のネット・ゼロ達成を目指し、融資先排出量（気候変動対策支援の融資先および投資先企業の炭素排出量）を、パリ協定の目標に適合させます。
- ネット・ゼロに向けての明確かつ測定可能な道筋をつけるために機関投資家向けの気候変動移行リスク評価ツール、「PACTA ツール（パリ協定資本移行評価ツール）」を利用します。
- HSBCの取り組みの進捗状況について定期的に、透明性の高い、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に準拠した開示を行い、顧客にも同様な対応を促します。
- 世界的に一貫性のある、将来を見据えた基準に基づく融資先排出量の測定により、同業他社、中央銀行、業界団体と協力して、金融システムを関与させ、またカーボン・オフセット市場を機能させます。
- HSBCは2030年またはそれ以前に自らの事業運営およびサプライチェーンでのネット・ゼロ達成を目標にします。

### 2. 自社の顧客の事業が低炭素への移行により繁栄できるための支援

- 自社の顧客が炭素排出量を削減するための取り組みを支援するために協力します。その際、HSBCの専門ESGソリューション・チーム、受賞歴のある商品、HSBC全体の専門家を動員して顧客に適合した独自のソリューションを提案します。

- すべてのセクターの顧客の炭素排出量を支援するための融資および投資を優先事項として位置づけます。HSBC は今後 10 年間にわたって、この目的のために 7,500 億米ドルから 1 兆米ドルの間の投融資を行うという意欲的な目標を掲げています。
- 最も排出量が多い業種でも脱炭素化を推し進められるような支援のために移行融資ソリューションのポートフォリオを拡大する一方、経済の安定性を維持するために適正かつ安定的な移行を確実に実現するよう支援します。
- 先進国や途上国で顧客が直面する特有の条件を考慮しながら、HSBC の融資判断では「気候のレンズ」を適用します。

### 3. 次世代の気候ソリューションの新たな導入

- 自然資本を主要な資産クラスの一つとして位置づけるために、世界最大級の自然資本に投資する会社を設立して、長期的に自然を保全、保護して、育む活動に投資します。この目的のために HSBC ポリネーション・クライメイト・アセット・マネジメント (HSBC Pollination Climate Asset Management) を設立しました。
- クリーンテクノロジー分野の革新を推進する企業を支援するために、専門の部門を設立して独自の提案を行い、HSBC のテクノロジー・ベンチャー・デット・ファンドの枠組みの中で、1 億米ドルのクリーンテクノロジー投資を行うことを目標にしています。
- 気候イノベーション・ベンチャー、再生可能エネルギーおよび自然に基礎を置いたソリューションを支援するために 1 億米ドルを現在から 2025 年までの間に寄付することを目的とした慈善的なプログラムを開始します。
- 持続可能なインフラを世界的な資産クラスに移行させることを支援し、また銀行が融資可能なプロジェクトの供給ルートを生み出しています。そのために、FAST-Infra イニシアティブ (Finance to Accelerate the Sustainable Transition-Infrastructure) を OECD および世界銀行と共にリードしています。

注記：

#### HSBC ホールディングス plc

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる 64 の国と地域でお客さまにサービスを提供し、2 兆 9,230 億米ドル (2020 年 6 月末現在) の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

#### サステイナブル・ファイナンス分野での HSBC の実績

HSBC の気候に関する意欲的な公表の内容は、サステイナブル・ファイナンスおよび気候変動への本格的な取り組み分野での指導的地位を基盤として構築されたものです。

- 2017 年に HSBC は気候変動対策への支援のための持続可能な融資および投資として 1,000 億米ドルを提供することを約束しました。

- 2020年にHSBCはユーロマネー誌から「サステナブル・ファイナンス部門ワールド・ベスト・バンク」に選定されました。同誌は、「地球環境をより持続可能で回復力に富んだものにするための、規模の大きな資金供与を行うパートナーシップおよび金融商品の開発への積極的な取り組みで、すべての業種および地域においてHSBCは突出している」と指摘しています。
- 先月、ザ・バンカー誌による2020年の年間表彰でHSBCは「持続可能性分野で最も優れた投資銀行」に選定されました。同誌はHSBCが「環境、社会、ガバナンス（ESG）の課題に対して、多くの地域、商品、サービス、顧客層にわたって、影響力が大きく総合的な取り組み」を行っていることを評価しました。
- ディールロジックは、9月末までの1年間について、HSBCをグリーン・ボンド、ソーシャル・ボンド、サステナビリティ・ボンドの世界最高のブックランナーと認定しました。
- エクステルおよびインスティテューショナル・インベスター誌を含むいくつかの外部調査会社が、HSBCは過去5年間についてESG（環境、社会、ガバナンス）分野で最も優れた調査会社であったと認定しました。
- HSBCはRE100の会員で、使用する電力の100%を再生可能エネルギーによって発電された電力に切り替えることを宣言しています。

#### HSBCの最近の革新的なグリーン・ソリューション

- HSBCはドイツの消費財メーカーであるヘンケル社が7月に世界で初めて発行したプラスチック廃棄物削減ボンドのグリーン・ストラクチャリング・アドバイザーと主幹事を務めました。
- HSBCは6月、英国とデンマークが海底ケーブルを通して再生可能エネルギーを共有することを可能にするViking Link相互接続プロジェクトに対する7億4,300万米ドルのグリーン・ローンで主要な役割を果たしました。
- HSBCは、グリーン・ボンド市場に高級ブランドとしては初めての参入となる、バーバリーとシャネルが9月に初めて発行したサステナビリティ・ボンドの発行を支援しました。
- HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、リアルエコノミー・グリーン・インベストメント・オポチュニティGEMボンド・ファンド（REGIO）を昨年設定しましたが、これは投資家が自らの財務的な目標と、パリ協定および持続可能な開発目標（SDGs）に基づく実際の経済に対するインパクト（影響）を両立させることを可能にしています。
- HSBCは持続可能なサプライチェーンの先駆者であり、具体的には、米国の小売り大手ウォルマートとこの分野で協力関係にあり、スポーツ用品ブランドのプーマとの間で設立したサステナブルSCFファシリティーは世界17カ国の納入業者を結びつけています。

#### 用語および定義

- 顧客のネット・ゼロへの移行を支援するために2030年までに7,500億米ドルから1兆米ドルの融資および投資を行うというHSBCの意欲的な目標は、2025年までに1,000億米ドルのサステナブルな資金供給を行うという2017年の宣言の規模を拡大したものです。
- この意欲的な目標には、資金供与、ファシリテーション（顧客取引）、投資活動を含み、資金の流れの総額を反映します。資金の流れでは、サステナビリティ基準が資金供与やファシリテーション、投資活動に適用され、これらの活動はHSBCの事業および顧客関係を通して可能になります。
- 定義を更新した場合はHSBC.comに公表いたします。

以上